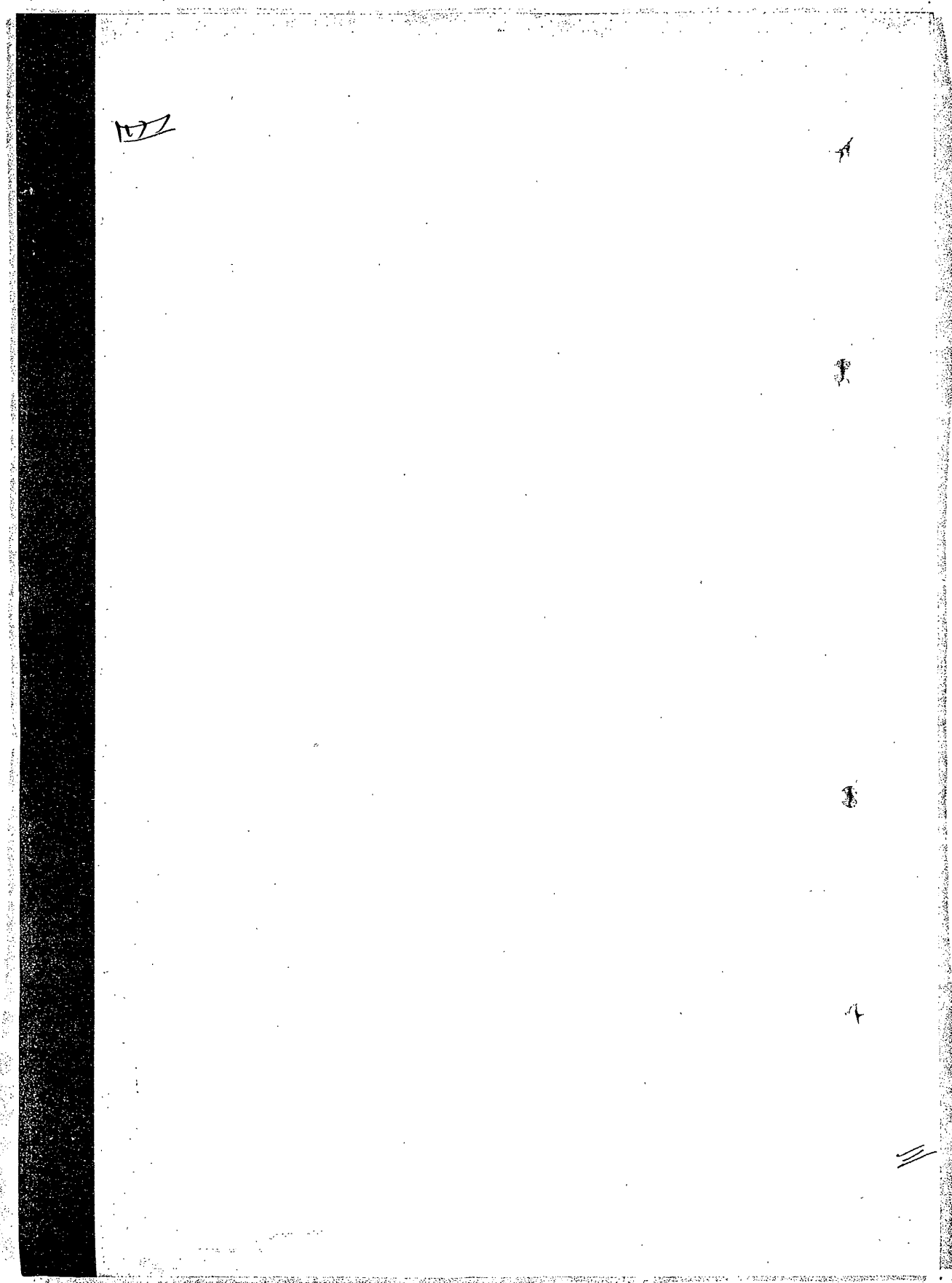




E-2340

0068

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次大臣
官

電信課長

昭和7.9.6-1

第四一號

齋藤外務大臣

昭和7 一三七九二 暗

芝罘 本省

六月十四日後着

通二

内田領事

本年龍口沖鯛漁期ハ例年ヨリ遅レ五月二十日ニ始リ五月末盛漁期ニ
達シ本月中旬中漁期ニ入りタルカ農林技師ノ談ニ依レハ本年ノ鯛漁
撈ハ極メテ不況ニシテ内地出漁船一隻關東州置籍船三十隻支那船四
十隻ニシテ隻數ニ於テハ昨年ヨリ多キモ其漁獲高ハ昨年ノ半分ニモ
達セサル由ナルカ昨年ノ成績ハ一昨年ノ五分ノ一ナルカ故ニ本年ハ
一昨年ノ十分ノ一ト推定セラルスノ如ク最近急激ナル不況ヲ續クル
原因ニ付テハ要スルニ鯛ノ龍口沖ニ集マルモノ毎年減少スルニ依ル

外務省

寫送先

會文人文情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次大臣
官

電信課長

昭和7.9.6-1

昭和7 一三二九三 平

旅順 六日後發
本省 六月六日後着

通

齋藤外務大臣

代表旅順市長

由來渤海及黃海ニ於ケル邦人漁業ハ支那官憲ノ壓迫ト匪賊ノ脅威ヲ
受ケ充分之ヲ開發スル事能ハス之カ脅威ヲ排撃シ當方面ニ於ケル漁
業ノ振興ヲ策スルハ滿洲ニ於ケル我生命線ノ確保ノ一端デアリ今ヤ
滿洲新國家ノ完成ニ伴ヒ今後益々重要性ヲ加フルニ至ルヘク國防上
ノ大策ハ當局ニ依頼シ敢テ言議ヲ要セサルモ之等漁民ヲ保護シ完全
ナル漁業ノ發達ヲ計ルハ之カ保護ニ任スル出先海軍ノ敏活ナル活動
ニ期待スル所甚タ大ナリ依ツテ當方面ニ於ケル海軍統制機關トシテ
速ニ旅順要港部ノ復活ヲ實現セラレ度ク全滿並ニ北支那居留邦人一
同熱望ニ堪エス此ニ閣下ノ御賢慮ヲ希フ

外務省

E-2340

0000

寫送先

會文文人情條通歐亞
計書事化報約商米細亞

次官
大臣

電信課長

E-49.0.6-1-1

第四三號

齋藤外務大臣

往電第三九號ニ關シ

昭和7 一四一二九 暗

芝罘
本省

十八日後發
六月十八日後着

通二

内田領事

其ノ後龍口ニ於テ海軍側ノ協力ノ下ニ黃縣知事ト交渉セシメタル結果大體我方ノ主張貫徹シ十一日假協定ニ達シ縣知事ハ濟南省政府ニ請訓ノ上十六日正式解決ヲ告ケ協定書ヲ取り交シ賠償金二千五百元現銀ニテ交換ヲ了セリ協定書ノ大要左ノ通（委細公信）
一、黃縣知事ハ相續負傷事件ニ對シ遺憾ノ意ヲ表シ特ニ陳謝（道歉）シ且將來嚴重取締ヲ保障スルコト

外務省

次第ナルモ其集マラサル眞因ニ付テハ農林省技師ニ於テ研究中ナリトノコトナリ尙農林省監視船祥鵬丸ハ十六日當地發大連經由歸國ノ豫定

青島、天津、牛莊、關東長官ヘ暗送セリ

外務省

E-2340

0071

ニ拳銃ヲ以テ相濱ニ傷害ヲ與ヘタル漁民ヲ相當處罰シ其ノ結果ヲ通
報スルコト

ミ支那側ハ被害者相濱ニ醫藥費及救恤費トシテ銀三千元ヲ給シ日本
側ハ漁民ノ網修理費トシテ五百元ヲ惠ミ差引キ二千五百元ヲ支那
側ヨリ出スコト

四日本漁民ノ支那領海内漁撈ニ付テハ調査ノ上事實アラハ相當處罰
シ且將來取締ヲ加フルコト

支、關東長官ニ轉電シ青島、濟南ヘ暗送セリ

外
務
省

E-2340

0072